交 通 局 事 業 概 要

令和７年４月１７日

交 通 局

目　次

1　交通局理事者一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

2　組織及び職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

3　交通事業のあらまし・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

4　営業所の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

5　市内の路線バスの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

6　運輸実績（令和５年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

7　路線別の収支状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

8　川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）・・・・・　１１

9　令和７年度予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２

１０ 主な事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３

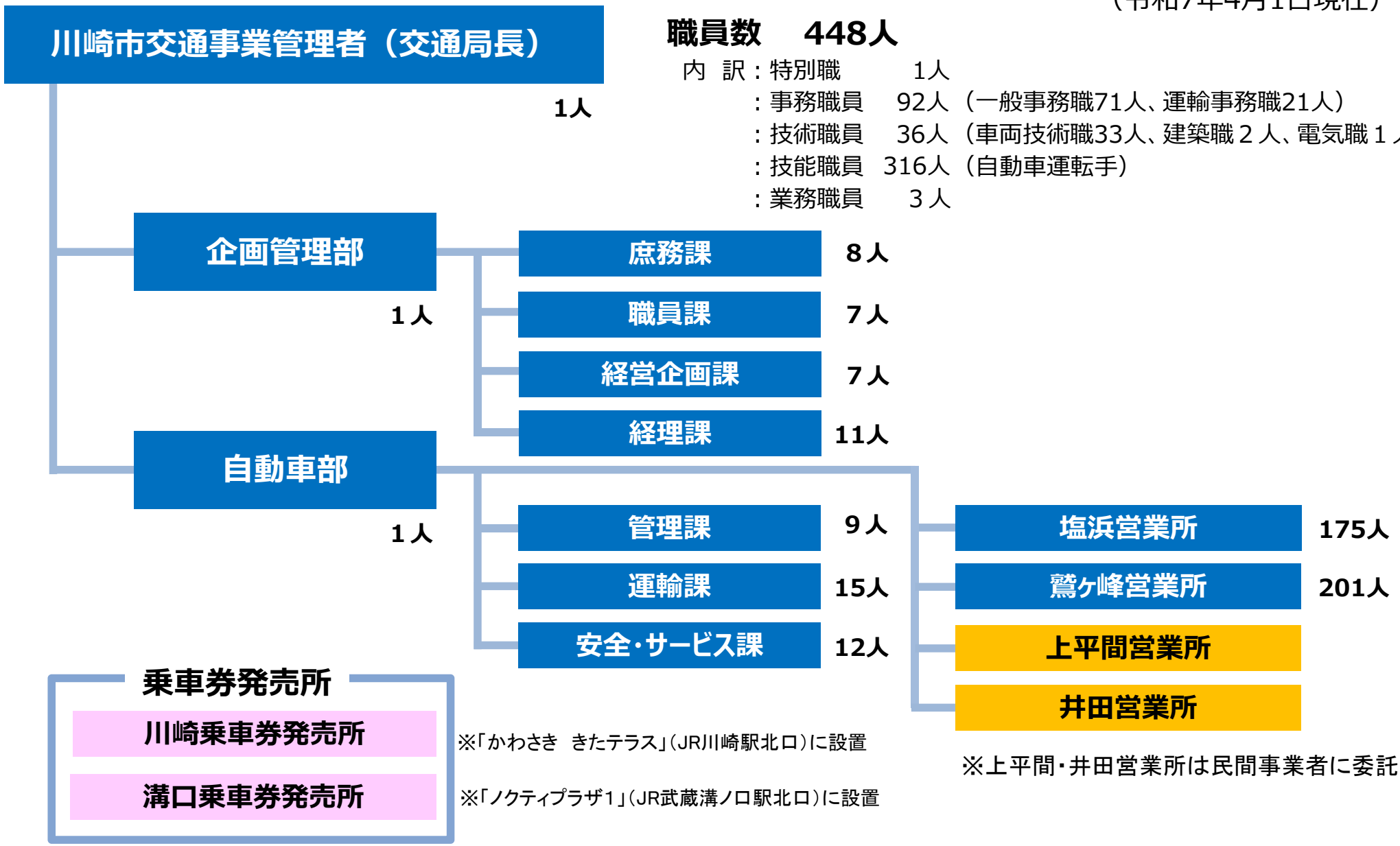
1　交通局理事者一覧

（令和7年4月1日現在）

役　職　名	職 名	氏　　名	内線電話
川崎市交通事業管理者・交通局長	事務職員	水 澤　邦 紀（みずさわ　くにのり）	47000
企画管理部長	事務職員	小 沢　正 勝（おざわ　まさかつ）	47100
企画管理部庶務課長	事務職員	永 松　祐 一（ながまつ　ゆういち）	47102
企画管理部職員課長	事務職員	石 井　崇 士（いしい　たかし）	47101
企画管理部職員課担当課長[採用育成] 企画管理部経営企画課担当課長兼務	事務職員	高 木　誠 一（たかぎ　せいいち）	47202
企画管理部経営企画課長	事務職員	植 村　宏 明（うえむら　ひろあき）	47201
企画管理部経理課長	事務職員	本 山　　実（もとやま　みのる）	47301
自動車部長	事務職員	澁 谷　淳 一（しぶや　じゅんいち）	47400
自動車部管理課長	事務職員	牛 島　祐 一（うしじま　ゆういち）	47401
自動車部運輸課長	事務職員	徳 原　英 幹（とくはら　ひでき）	47501
自動車部安全・サービス課長	事務職員	榎 田　久 男（えのきだ　ひさお）	47801
自動車部塩浜営業所長	事務職員	山 田　　誠（やまだ　まこと）	47771
自動車部担当部長・鷲ヶ峰営業所長事務取扱	事務職員	北 條　泰 広（ほうじよう　やすひろ）	47781

2　組織及び職員数

（令和7年4月1日現在）



3　交通事業のあらまし

（令和7年4月1日現在）

市バス運行開始日	昭和25年12月15日　（交通事業の営業開始日　昭和19年10月14日）
運行区域	川崎市全域（一部横浜市乗入）
普通乗車料金 【市内均一】	現金：大人220円 小児110円 ＩＣ：大人220円 小児110円 ※川崎病院線は大人・小児とも100円
車両数	309両（乗合304両　貸切5両）
営業路線数	28路線
運行系統数	169系統
停留所数	491箇所
認可キロ数	197.693km（市内195.003km、横浜市内2.69km）

4　営業所の概要

	塩浜営業所	鷲ヶ峰営業所	上平間営業所	井田営業所	計
所在地	川崎区塩浜2-2-1	宮前区菅生ケ丘41-1	中原区上平間1140	高津区明津98	
営業開始	昭和37.8.7	昭和47.4.24	昭和28.7.22	昭和41.8.1	
車両数（両）	92	102	59	56	309

※車両数は令和7年4月1日時点

5　市内の路線バスの状況

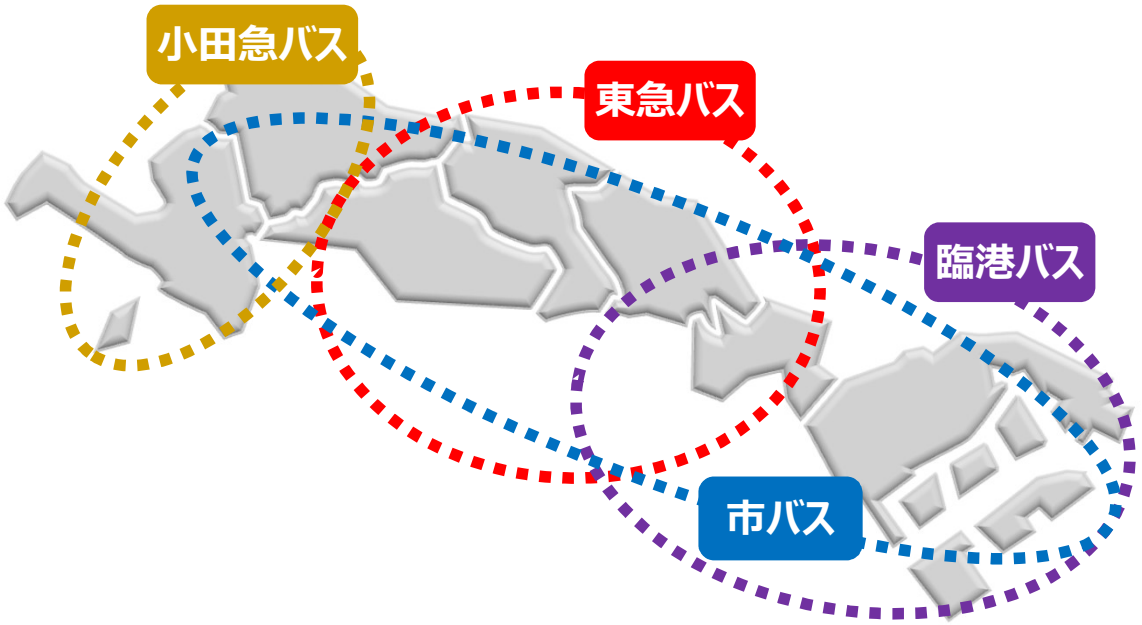
- 市内の路線バスは、市バスのほか、主に民間バス事業者３社が運行しており、川崎鶴見臨港バスが臨海部地域を、東急バスが東急東横線・田園都市線沿線を、小田急バスが小田急線沿線を主な営業エリアとしている。
- 市バスは、市域全体を営業エリアとして、市内バス事業者における乗車人員の約４割のシェアを有している。

＜市内バス事業者の乗車人員（令和５年乗合バス）＞

事業者	乗車人員（人）	シェア
市バス	43,715,668	**37.9%**
臨港バス	33,850,876	29.4%
東急バス	23,653,642	20.5%
小田急バス	14,095,210	12.2%
合計	115,315,396	100.0%

（資料）『川崎市統計書』から作成
※市バスは年度（４月～３月）、民間バスは年間（１月～１２月）

＜市内路線バスの営業エリアイメージ＞



6　運輸実績（令和５年度）

乗合バス事業

区分	数量	１日当たり
期末営業キロ	197.69km	–
停留所数	491箇所	–
運行系統数	171系統	–
営業路線数	28路線	–
営業日数	366日	–
期末在籍車両数	306両	–
延実働車両数	96,413両	263両
実車走行キロ	11,009,306km	30,080km
乗車人員	43,715,668人	119,442人
乗車料収入（税抜）	7,663,506,434円	20,938,542円

※運行系統数には臨時系統の13系統を含む

貸切バス事業

区分	数量	１日当たり
営業日数	366日	–
期末在籍車両数	5両	–
延実働車両数	433両	1両
実車走行キロ	27,597km	75km
乗車人員	157,006人	429人
乗車料収入（税抜）	31,082,330円	84,924円

7　路線別の収支状況

・営業係数とは

１００円の収入を得るのに必要な費用を示す指数で、

１００未満であれば黒字、１００を超えると赤字であることを示す。

〔令和５年度決算〕

営業係数	路線数	構成比
100 未満（黒字）	５路線	１７.９％
100　超　（赤字）	２３路線	８２.１％
100 ～ 150未満	２２路線	７８.６％
150 以上	１路線	３.５％
計	２８路線	１００.０％

●営業係数＝（営業費用÷営業収益）×１００

●営業費用は、人件費、経費、減価償却費等

●営業収益は、乗車料収入、広告料収入等

7　路線別の収支状況

〔令和5年度決算〕

	路線名	主要系統	営業収益（千円）	営業費用（千円）	営業損益（千円）	営業係数
1	埠頭線	川崎駅～市営埠頭	1,453,658	1,627,324	△173,666	111.9
2	東扇島循環線	川崎駅～東扇島循環・東扇島西公園前				
3	小向線	川崎駅ラゾーナ広場～妙光寺前～上平間	385,848	305,525	80,323	79.2
4	渡田線	川崎駅～ＪＦＥ前～塩浜営業所前	431,139	400,480	30,660	92.9
5	水江町線	川崎駅～水江町・塩浜	303,109	309,723	△ 6,615	102.2
6	扇町線	川崎駅～扇町	31,547	40,078	△ 8,531	127.0
7	神明町線	川崎駅ラゾーナ広場～神明町～上平間～小杉駅前	216,034	251,257	△ 35,223	116.3
8	新城線	井田病院～川崎駅西口・新城駅前・横須賀線小杉駅	435,671	532,087	△ 96,416	122.1
9	小倉循環線	川崎駅西口～新川崎駅～江川町	188,007	234,607	△ 46,600	124.8
10	御幸線	川崎駅ラゾーナ広場～幸区役所入口～小杉駅前	410,679	436,008	△ 25,328	106.2
11	等々力線	小杉駅前～溝口駅前	104,775	133,555	△ 28,780	127.5
12	宮内線	小杉駅前～中原駅前	148,673	150,178	△ 1,504	101.0
13	蟹ヶ谷線	小杉駅前～蟹ヶ谷	94,826	118,990	△ 24,165	125.5
14	久末団地線	溝口駅南口・中原駅前～高田町	75,634	112,974	△ 37,341	149.4
15	馬絹線	宮前平駅～新城駅前・井田病院	167,150	177,202	△ 10,051	106.0
16	有馬線	小杉駅前・新城駅前～鷺沼駅	368,148	350,787	17,361	95.3
17	久末線	溝口駅南口～有馬第二団地前	47,485	69,793	△ 22,308	147.0
18	柿生線	溝口駅南口～鷲ヶ峰営業所前・聖マリアンナ医科大学前・新百合丘駅前	1,137,016	1,195,452	△ 58,436	105.1
19	犬蔵線	溝口駅南口～宮前平駅・宮前区役所前・聖マリアンナ医科大学前	696,479	674,657	21,822	96.9
20	五所塚線	登戸駅（生田緑地口）～菅生車庫・宮前区役所前	213,896	267,552	△ 53,655	125.1
21	生田線	生田駅～鷲ヶ峰営業所前・聖マリアンナ医科大学前・宮前平駅・宮前区役所前	295,730	321,728	△ 25,998	108.8
22	久地線	向丘遊園駅南口・登戸駅～溝口駅前～井田営業所前	116,847	167,259	△ 50,412	143.1
23	西菅線	向丘遊園駅南口・登戸駅～城下～西菅団地	98,397	143,949	△ 45,552	146.3
24	カリタス線	鷲ヶ峰営業所～登戸駅多摩川口～カリタス学園・中野島多摩川住宅	91,647	128,093	△ 36,446	139.8
25	新ゆり線	新百合丘駅前～鷲ヶ峰営業所前	32,327	67,821	△ 35,494	209.8
26	市民プラザ線	溝口駅南口～市民プラザ～梶ヶ谷駅	130,335	142,085	△ 11,751	109.0
27	川崎病院線	川崎駅～（直通）～川崎病院	17,453	17,535	△ 82	100.5
28	藤子・Ｆ・不二雄ミュージアム線	登戸駅（生田緑地口）～藤子・Ｆ・不二雄ミュージアム	59,205	54,183	5,023	91.5

8　川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）

川崎市バス事業 経営戦略プログラムについて

- 今後の人口増加と高齢化率の上昇、まちづくりの進展、運転手・整備員の不足、営業所施設の老朽化など、事業を取り巻く環境の変化等を踏まえ、市バス輸送サービスを持続的に提供し、市民やお客様の大切な交通手段を確保するため、経営計画を策定（平成31年３月）
- 計画期間は、令和元年度から令和7年度までの7年間（前期3年間、後期4年間に設定）
- 川崎市総合計画の政策や施策を効果的・効率的に推進するため、**「分野別計画」として位置付け**
- 後期４年間については、市バス事業を取り巻く環境の変化や前期３年間の取組状況等を踏まえて、**計画の見直しを行い、後期計画を策定**（令和４年３月）
- 令和7年度中に、次期経営計画を策定

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
川崎市 総合計画	**基本計画**（H28年度から概ね10年）									
	第1期実施計画			**第2期実施計画（H30～R3）**			**第3期実施計画（R4～R7）**			
交通局 経営計画	経営プログラム （H26～H30）			**経営戦略プログラム**（R1～R7）						
				前期３年間（R1～R3）			**後期４年間（R4～R7）**			

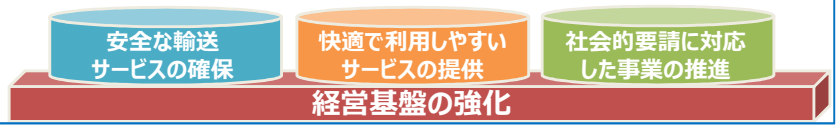
市バス事業を取り巻く環境の変化と課題

- **新型コロナウイルス感染症の影響**
  - 感染拡大防止のためテレワークなど人々の行動様式が変容したことから**乗車人員及び乗車料収入の大幅な減少**
  - 今後も**感染拡大前の乗車人員への回復は困難**
- **自然災害への対応**
  - これまでの想定を超える**自然災害が頻発**
  - 自然災害を想定した災害時に備えた対応が必要
- **脱炭素の取組**
  - 「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」と連携したバス車両等の**脱炭素に向けた取組**が必要
- **社会のデジタル化への対応**
  - デジタル技術を活用したキャッシュレス化への対応
- **その他の環境の変化**
  - 燃料費の動向：軽油価格の急激な変動を見据えた対応が必要

後期計画の基本的な考え方

- 新型コロナウイルス感染症の影響等により市バスを取り巻く環境は大きく変化する中においても、市バス輸送サービスの持続的な提供に必要となる、「安全な輸送サービス」「快適で利用しやすいサービス」「社会的要請への対応」及び「経営基盤」の**４つの基本方向を維持することで、市民やお客様の大切な交通手段を確保**していく。
- 今後においても公共交通や公営バスとしての意義・役割を果たし、安全かつ快適で利用しやすいサービスを提供するためには、今般の乗車人員・乗車料収入の減少に伴う変化への対応が喫緊の課題であることから、後期計画では、全てのサービス提供の礎となる**「経営基盤の強化」を重要課題**と位置付け、さらなる経営改善に取り組む。

計画の基本方向	計画の目標
安全な輸送サービス	「経営基盤の強化」を図り、「安全な輸送サービスの確保」、「快適で利用しやすいサービスの提供」、「社会的要請に対応した事業の推進」を実現
快適で利用しやすいサービス	
社会的要請への対応	
経営基盤	



計画期間中の純利益の確保

- 純損益は、**後期4年間で純利益（黒字）の確保を目指し**、資金不足額は、**安定的に純利益（黒字）を確保することにより、順次解消を図る。**

９　令和７年度予算の概要

（単位　千円）

区　分		７　年　度 予　算　額	６　年　度 予　算　額	増　減　額	増　減　率 （　％　）
収益的収支	収　　入	10,144,129	9,929,263	214,866	2.16
	支　　出	10,593,631	10,235,966	357,665	3.49
	純損益 (税抜き)	△ 558,020	△ 471,528	△86,492	
資本的収支	収　　入	3,678,720	1,847,843	1,830,877	99.08
	支　　出	4,410,952	2,547,326	1,863,626	73.16

当年度末累積資金過不足額	19,656	△91,181	110,837	

１０　主な事業

（１） 運輸安全マネジメントの着実な推進

● 安全対策の強化

・輸送安全委員会の開催

- ▶ 輸送の安全に関する取組状況などの情報を共有し、安全意識の向上を図るため、年４回開催

・経営トップと営業所職員による意見交換の実施

- ▶ 交通事業管理者（交通局長）や安全統括管理者、各課管理職と営業所職員との間で、的確な情報伝達と双方向の意思疎通を図るための意見交換を実施

・運転手実技研修の実施

- ▶ 民間教習所施設を使用して行う実際の運行に則した体験型の運転手実技研修を実施

・添乗観察の実施

- ▶ 外部委託および職長、安全・サービス課職員による添乗観察の結果に基づく個別指導を実施

・ドライブレコーダーとデジタルタコグラフの活用

- ▶ ドライブレコーダー映像により発生した事故等の要因分析等を行い、運転手指導および研修等に活用
- ▶ 通信化したドライブレコーダーを、事故、トラブル等への迅速な対応及び、リアルタイム映像によるバス車内や周辺の状況把握に活用
- ▶ 急加速や急制動などの運行データが記録可能なデジタルタコグラフを活用した指導の実施

・車両へのドライバー異常時対応システム（EDSS）の装備

- ▶ 新規導入のバス車両へ、ドライバー異常時対応システム（EDSS）※を装備し、運転手に不測の事態が生じた場合の安全性を確保

※　運転手が急病等で運転できなくなった場合に、お客様や運転手が非常ブレーキを操作してバスを緊急停止させる装置

輸送安全委員会

運転手実技研修

１０　主な事業

（２） 安全啓発の推進

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略1　安全な輸送サービスの確保

● 輸送の安全に係る啓発活動の充実

・交通安全・バリアフリー教室の開催

- 区役所や警察署、学校等の関係機関と連携し、市バス車両を使用した交通安全・バリアフリー教室を開催
- 交通安全パンフレットを作成し、新小学一年生へ配布

・自転車利用者に向けた注意看板による啓発

- 自転車の車道走行の増加等を踏まえ、自転車接触事故の予防的対策として、市バス路線付近の自転車等駐車場への注意看板による啓発

交通安全・バリアフリー教室

（３） 市バスネットワークの形成

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略２　快適で利用しやすいサービスの提供

● 人口動態や都市基盤整備に応じた市バスネットワークの形成

・人口の増加や社会変容による通勤等の輸送需要の変化への対応

- 利用動向を踏まえたダイヤ改正、路線再編の実施

・都市基盤整備の進捗に応じたバスネットワークの検討

- 臨海部の拠点整備等に合わせた路線の検討
- 京急川崎駅周辺地区
- 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区　など

１０　主な事業

（４） バス利用環境の充実

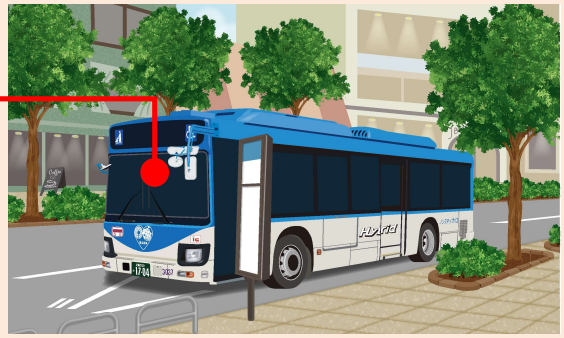
川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略２　快適で利用しやすいサービスの提供

市バスナビ

- 市バスナビの運用による運行情報の提供

バス車内停留所案内表示器

- バス車内における案内情報の提供



バス総合案内表示板

- 駅改札口付近における運行情報の提供

リアルタイム運行情報の外部提供

- リアルタイム運行情報を経路検索アプリの運営事業者等が活用しサービス提供

（５） 快適な移動空間の提供

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略２　快適で利用しやすいサービスの提供

● バス停留所施設の整備・維持

- 停留所施設の清掃等を定期的に実施
- 劣化の進んでいる上屋の補修、二面式標識等の補修・更新を実施

上屋

二面式標識

１０　主な事業

（６）　環境対策の推進

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略３　社会的要請に対応した事業の推進

●バス車両等の脱炭素に向けた取組

- 2050年の脱炭素社会の実現に向けた取組の中で試験導入した電気バス（ＢＥＶ※）　３両を使用し、今後の計画的な導入へ向けた運行面の課題等を整理
- 照明付き標識のLED化工事実施

※「Battery Electric Vehicle」の略称で、バッテリー式電気自動車のことを指す

電気バス（BEV）

（７）　災害時等への対応

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略３　社会的要請に対応した事業の推進

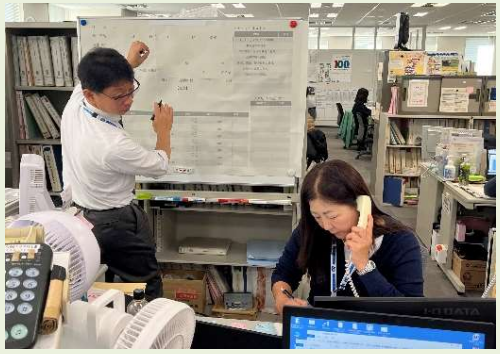
●危機管理体制の強化に向けた取組

・災害時等における実効性のある取組

- 災害時等を想定した訓練の実施
- 訓練結果を踏まえた交通局危機管理対応マニュアル等の改訂

・バス非常時に備えた取組

- 本局と営業所間における情報収集・伝達のシミュレーションを行う重大事故通報訓練を実施
- 非常用連絡無線機を活用して、運行指示や運行に係る情報収集を実施



重大事故通報訓練

１０　主な事業

（８） 事業基盤の強化

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略４　経営基盤の強化

● 安定的な事業基盤を支える人材の確保

- 大型自動車第二種免許を保有していない若年層の採用に向けた運転手（養成枠）採用選考の継続実施
- ＳＰＩ３の導入や年齢上限の拡大など、運転手採用選考の見直し（令和6年度から）
- 整備士資格を取得していない若年層の採用に向けた整備員（養成枠）採用選考の実施（令和6年度から）
- 大型自動車第二種免許を保有しているバス乗務経験のない方に向けた運転手（未経験者枠）採用選考の募集開始（令和6年度から）
- 交通局を出産・育児・介護等で退職した方に向けてジョブ・リターン制度による採用選考の募集開始（令和6年度から）

● 職員の健康管理

- 睡眠時無呼吸症候群（ＳＡＳ）のスクリーニング検査の実施
- 脳健診の実施
- 心臓疾患・大血管疾患対策検査の実施
- 眼科検診の実施

● 営業所の計画的整備

- 塩浜営業所の建替えに向けた営業所施設の機能の検討
- 鷲ヶ峰営業所の再整備について検討

職員採用パンフレット

（９） 経営力の強化

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略４　経営基盤の強化

● 持続可能な経営の推進

・営業所の管理委託の継続

- 上平間営業所及び井田営業所の管理委託を継続（令和４年度から令和８年度までの5年間）
- 令和9年度からの管理委託事業者の選定

・総人件費の抑制

- 働き方・仕事の進め方改革の推進による長時間勤務の是正（時間外勤務の縮減・平準化を含めた総人件費の抑制）

・次期経営計画の策定

１０　主な事業

（10） プロモーションの推進

＜市バス広報＞

・市バス公式X

- 市バスイベント情報、かわさきノルフィンの情報などのほか、事故や災害時の路線運行情報などを随時発信

・市バスホームページ

- ダイヤ改正、運行系統変更など重要な情報のほか、お楽しみ情報などを発信

・市バスマップ

- 市バス全路線の路線図をはじめ、主要駅の乗り場案内、料金や各種制度の案内などを掲載

かわさき市バスマップ

＜ホームタウンスポーツチームと協働した取組＞

・川崎フロンターレ直行便

- ホームゲーム開催時に、小杉駅から等々力陸上競技場前まで直行便を運行
  ※ 運転手がユニフォームを着用
  ※ 川崎フロンターレ選手による車内アナウンスを実施

・富士通レッドウェーブ選手による業務放送

- 「とどろきアリーナ前」バス停を通る全路線において、富士通レッドウェーブの選手による車内放送（小杉駅周辺の散乱防止、路上喫煙防止重点区域の拡大）を４月１日より実施

運転手のユニフォーム着用

市バスキャラクター「ノルフィン」と富士通レッドウェーブ公式マスコット「レッディ」